

単位民児協の活動実態 —3つの活動領域を切り口にして—

福祉社会開発研究センタープロジェクト1 RA
東洋大学大学院福祉社会デザイン研究科博士後期課程
大村 美保

I. はじめに

本稿では、単位民児協を1つの組織と見たときの活動の状況を数量的に明らかにすることを目的としている。先行研究に単位民児協を活動単位として行った同様のデータ分析として小林論文09があるが、そこで述べられているように、これは民児協の組織としての特性を見出すアプローチである。ここでは、民生委員の活動に関する意識と、実際の活動との間の関係を、単位民児協を基礎として分析する。このことで、単位民児協を一つの組織としてみたときに、活動や意識にどのような特性が見出せるのかを探索的に分析するものである。

分析を行うデータについて説明をしたい。2008年度に東京都民生委員児童委員連合会（以下、都民連）が実施した「民生委員児童委員活動実態調査」（以下、活動実態調査）をもとに単位民児協別に再集計した。単位民児協数は49である。なお、単位民児協別ではなく民生委員個人ベースでの活動実態調査の概要と分析については大村論文09を参照されたい。

それとは別に、民生委員の実績値である活動記録データについて、都内にあるすべての単位民児協（392ヶ所）につき、「基礎的活動」「地域活動」「行政協力活動」の3つの活動領域別の因子得点と活動日数に6分位で順位をつけた。そして、そこから、活動実態調査で対象となった49単位民児協だけを取り出して、上記の再集計した活動実態調査のデータに統合し

た。このことにより、49ヶ所の単位民児協が3つの活動領域ごとにそれぞれ東京都内の単位民児協の中でどの位置にあるのかを示すデータが、活動実態調査に付加されることになる。本稿の分析はこの統合データを用いたものである。

なお、活動記録データの詳細な分析は本誌収録の小林論文及び小林論文09を参照されたいが、分析に先立ち3つの活動領域について補っておく。小林論文09によると、民生委員活動記録で把握している11の活動項目を用いた因子分析の結果、3つの因子が抽出された。第1因子である「基礎的活動」には「相互連絡」「機関連絡」「行事参加」が含まれる。第2因子「地域活動」ⁱには「相談支援」「地域活動」「見守り訪問」が含まれる。第3因子の「行政協力活動」には「実態把握」「一般訪問」が含まれるⁱⁱ。

民生委員が日々の活動を記録する活動記録のデータは毎年集計され国が統計資料をまとめている。また、活動実態調査とそれに類する意識調査は全国民生委員児童委員連合会をはじめ各都道府県民生委員児童委員協議会でも実施しているところである。本稿は、こうした実際の活動実績と、意識調査である活動実態調査との間にどのような関係が見られるかに着目したところに独自性と意義がある。また、既存の統計資料ではほとんど触れられることのなかった、単位民児協という活動単位をベースにした分析である。

II. 分析結果

1. 基礎属性

(1) 性別・年齢・無職率

実態調査では民生委員の属性「性別」「年齢」「現在の仕事」を尋ねている。「性別」「年齢」については平均値、「現在の仕事」については無職者の割合、すなわち「無職率」をそれぞれ単位民児協ごとに算出し、3つの活動領域及び「活動日数」との相関をみた(表1)。その結果、「性別」「年齢」とは相関がないが、「無職率」では「基礎的活動」、「活動日数」との間に相関が見られた(それぞれ相関係数0.350、0.371で有意)。つまり、無職率が高い民児協ほど「基礎的活動」と「活動日数」が多いことがわかる。

表1

	性別	年齢平均	現在の仕事無職率
組織型6分位	-0.015	0.072	0.350*
地域型6分位	0.019	0.191	0.000
行政型6分位	0.080	-0.120	0.188
活動日数6分位	0.014	0.255	0.371**

** 相関係数は 1% 水準で有意(両側)です。

* 相関係数は 5% 水準で有意(両側)です。

(2) 担当世帯数

「担当世帯数」の平均値と3つの活動領域及び「活動日数」との相関をみた(表2)が、いずれも相関は認められなかった。ここからは、「担当世帯数」の多さと活動日数や3つの活動類型との間に明らかな関係は見られなかった。

表2

	担当世帯数平均
組織型6分位	-0.040
地域型6分位	0.018
行政型6分位	-0.112
活動日数6分位	-0.055

(3) 初任者率

民生委員に就任して3年未満の民生委員が当該の単位民児協にいる割合として「初任者率」を算出し、3つの活動領域及び「活動日数」との相関をみた(表3)が、いずれも相関は認められなかった。ここからは、民児協の「初任者率」は「活動日数」及び3つの活動類型に影響しないことがわかる。

表3

	初任者率
組織型6分位	0.112
地域型6分位	0.050
行政型6分位	0.138
活動日数6分位	-0.043

(4) 就任前の認知度

就任前の民生委員についての認知度では「制度」と「活動内容」について1.よく知っていた 2.ある程度知っていた 3.あまり知らなかった 4.全く知らなかった の4段階で聞いている。単位民児協ごとに平均値を算出して3つの活動領域及び「活動日数」との相関をみた(表4)。その結果、就任前の「制度」の認知度と「地域活動」との間に逆相関がみられた(相関係数-0.324)。「活動内容」の認知度では相関がみられなかった。ここから、就任前に民生委員の「制度」をよく知っている民生委員が多い民児協ほど、「地域活動」が多くなることがわかる。

表4

	認知制度 平均	認知活動 内容平均
組織型6分位	0.018	-0.115
地域型6分位	-0.324*	-0.241
行政型6分位	0.199	0.165
活動日数6分位	-0.039	-0.073

*. 相関係数は 5% 水準で有意 (両側) です。

2. 民児協活動

(1) 定例会

まず、定例会の「開催回数」「出席回数」の平均値と3つの活動領域及び活動日数との相関をみた (表5) が、いずれも相関は認められなかった。ここからは、定例会の「開催回数」「出席回数」は「活動日数」や3つの活動類型とは明らかな関係が認められない。

表5

	定例会開催	定例会出席
組織型6分位	-0.014	0.163
地域型6分位	0.046	0.079
行政型6分位	0.061	0.212
活動日数6分位	0.000	0.179

次に、定例会の内容と3つの活動領域及び「活動日数」との相関をみた (表6)。定例会の持ち方としてあてはまるものを1、あてはまらないものを2としている。逆相関が認められたのは「各部会の活動報告」では「基礎的活動」(相関係数-0.285)と「基礎的活動」(相関係数-0.382)、また「事例検討」では「基礎的活動」(相関係数-0.298)と「活動日数」(相関係数-0.361)であった。ここから、「基礎的活動」「行政協力活動」が高い単位民児協ほど「各部会の活動報告」が行われていることが多いことがわかる。また、「基礎的活動」「活動日数」が高い単位民児協では「事例検討」が行われていることが多いことがわかる。

表6

	行政からの 説明伝達	社協等関係 機関からの 説明伝達	各部会の 活動報告
組織型6分位	0.189	0.047	-0.285*
地域型6分位	-0.127	0.029	0.094
行政型6分位	-0.124	-0.061	-0.382**
活動日数6分位	-0.022	0.075	-0.231
	各委員が参 加した会議 研修の報告	事例検討	講義形式の 研修
組織型6分位	-0.076	-0.298*	0.027
地域型6分位	0.274	-0.060	-0.124
行政型6分位	-0.254	-0.190	0.098
活動日数6分位	-0.068	-0.361*	-0.032
	テーマに 沿った 話し合い	グループに よる作業	定例会 その他
組織型6分位	-0.092	-0.045	0.056
地域型6分位	0.119	-0.238	-0.101
行政型6分位	-0.046	0.073	0.046
活動日数6分位	-0.154	-0.199	-0.078

** 相関係数は 1% 水準で有意 (両側) です。

* 相関係数は 5% 水準で有意 (両側) です。

(2) 組織活動

次に、民児協の組織活動についてだが、活動実態調査では、どのような組織活動を行っているかを10項目を挙げて実施の有無について尋ねている。この10の項目別に単位民児協ごとに平均値を算出して3つの活動領域及び「活動日数」との相関をみた (表7)。その結果、民児協の組織活動10項目のうち逆相関があったのは「見守り活動」のみという結果となり、相関係数は「基礎的活動」-0.539、「活動日数」-0.488であった。「見守り活動」が高い民児協では「基礎的活動」「活動日数」が高くなるのがわかる。

3. 個人活動

民生委員が行う個人の業務内容との関係を見ていきたい。活動実態調査では、民生委員が個人として

表7

	住民向けの研修	子育て支援活動	防災活動	健全育成活動
組織型6分位	-0.113	-0.163	0.082	0.171
地域型6分位	-0.276	-0.156	-0.056	-0.120
行政型6分位	-0.186	-0.280	0.141	0.089
活動日数6分位	-0.160	-0.269	-0.017	0.049
	高齢者のサロン支援	子育てサロン支援	自主活動	PR活動
組織型6分位	-0.062	-0.181	0.101	-0.029
地域型6分位	-0.216	-0.163	-0.235	0.041
行政型6分位	0.051	0.067	0.234	0.138
活動日数6分位	-0.171	-0.154	-0.092	0.003
	意見具申	見守り活動		
組織型6分位	-0.005	-0.539**		
地域型6分位	-0.106	-0.186		
行政型6分位	-0.206	-0.192		
活動日数6分位	-0.086	-0.488**		

**、相関係数は1%水準で有意(両側)です。

どのような活動が多いかを1.かなりある 2.ややある 3.あまりない 4.ほとんどない の4段階で尋ねている。単位民児協ごとに平均値を算出して3つの活動領域及び「活動日数」との相関をみた(表8)。その結果、「相談・支援2(悩み事を聞く)」と「その他1(地域住民に関する実態調査などを通じて地域の実情を把握する)」の2項目で3つの活動領域及び「活動日数」との間で逆相関がみられた。相関係数は「相談・支援2(悩み事を聞く)・「その他1(地域住民に関する実態調査などを通じて地域の実情を把握する)」の順に「基礎的活動」(-0.492、-0.385)、「地域活動」(-0.500、-0.336)、「行政協力活動」(-0.333、-0.500)、「活動日数」(-0.741、-0.509)である。この2つの個人活動が高い民児協では、3つの活動領域及び「活動日数」が高くなることわかる。

続いて、「行政協力活動」以外の活動すべてと逆相関があったのは「相談・支援4(関係機関などの窓口と調整する)」「地域3(日頃から地域の関係機関・団体との関係づくりをする)」「地域4(関係機関からの依頼や指示に協力する)」「地域5(地域の関係機関・団体が開催する会合や行事に参加・協力する)」「その

他6(地域の社協等関係機関のバザーや福祉まつりなどの行事に協力する)」の5項目であった。相関係数は5項目の順に「基礎的活動」(-0.333、-0.431、-0.299、-0.416、-0.342)「地域活動」(-0.359、-0.318、-0.342、-0.353、-0.344)「活動日数」(-0.456、-0.461、-0.476、-0.581、-0.373)である。これら5項目の個人活動が高い民児協では「基礎的活動」「地域活動」「活動日数」が高くなることわかる。

また、「基礎的活動」及び「活動日数」と逆相関があったのは「その他7(地域の学校の行事への支援や協力をする)」で、相関係数は「基礎的活動」-0.543、「活動日数」-0.484であった。学校行事への支援や協力が高い民児協では「基礎的活動」「活動日数」が高くなることわかる。

さらに、「地域活動」及び「活動日数」と逆相関があったのは「相談・支援1(関係機関や団体を紹介する)」「相談・支援3(自分の持っている情報を教える)」「相談・支援5(地域住民の身の回りの世話などをする)」「その他5(配食サービスや家事援助サービスなどにボランティアとして参加する)」の4項目であった。相関係数は4項目の順に「地域活動」(-0.364、-0.404、-0.433、-0.329)「活動日数」(-0.504、-0.366、-0.406、-0.289)であった。これら4項目の個人活動が高い民児協では「地域活動」「活動日数」が高くなることわかる。

「基礎的活動」のみと逆相関があったのは「地域2(委員同士で連絡を取り合い、支援の役割を分担する)」(相関係数-0.327)であった。委員同士の連絡調整が高い民児協では「基礎的活動」が高くなる。また、「地域活動」のみと逆相関があったのは「その他4(福祉施設や作業所などのボランティアとして活動する)」(相関係数-0.284)であった。施設や作業所のボランティアとしての活動が高い民児協では「地域活動」は高くなる。なお、これらはそれぞれ「基礎的活動」または「地域活動」という活動領域には影響するものの、「活動日数」に影響していなかった。

最後に、いずれの活動領域とも相関がなかったのは「地域1(要援護者・児を支えるネットワークづくり

をする)」「その他2(調査書・意見書を作成する)」「その他3(福祉施設や作業所などの役員として活動する)」「その他8(赤い羽根共同募金・歳末助け合い運動等の募金や社協等の会費集めなどに協力する)」であった。

表8

	相談1	相談2	相談3	相談4
組織型6分位	-0.233	-0.492**	-0.186	-0.333*
地域型6分位	-0.364*	-0.500**	-0.404**	-0.359*
行政型6分位	-0.280	-0.333*	-0.151	-0.212
活動日数6分位	-0.504**	-0.741**	-0.366**	-0.456**
	相談5	地域1	地域2	地域3
組織型6分位	-0.210	0.011	-0.327*	-0.431**
地域型6分位	-0.433**	-0.222	-0.110	-0.318*
行政型6分位	-0.144	0.158	-0.246	-0.136
活動日数6分位	-0.406**	-0.078	-0.281	-0.461**
	地域4	地域5	その他1	その他2
組織型6分位	-0.299*	-0.416**	-0.385**	-0.023
地域型6分位	-0.342*	-0.353*	-0.336*	-0.186
行政型6分位	0.006	-0.058	-0.500**	-0.104
活動日数6分位	-0.476**	-0.581**	-0.509**	-0.134
	その他3	その他4	その他5	その他6
組織型6分位	-0.132	-0.086	-0.062	-0.342*
地域型6分位	-0.181	-0.284*	-0.329*	-0.344*
行政型6分位	0.042	-0.044	0.039	0.231
活動日数6分位	-0.105	-0.214	-0.289*	-0.373**
	その他7	その他8		
組織型6分位	-0.543**	-0.102		
地域型6分位	-0.208	-0.230		
行政型6分位	-0.037	-0.017		
活動日数6分位	-0.484**	-0.240		

** 相関係数は 1% 水準で有意 (両側) です。

* 相関係数は 5% 水準で有意 (両側) です。

4. 関係機関・団体との連携

活動実態調査では、民生委員が関係機関・団体と連携がうまくいっているかを1.そう思う 2.まあそう思う 3.あまりそう思わない 4.そう思わない の4段階で尋ねている。単位民児協ごとに平均値を算出して3つの活動領域及び「活動日数」との相関をみた(表9)。

「市区町村民児協事務局」と「行政協力活動」の間で相関がみられ(相関係数0.335)、「行政協力活動」が高い民児協ほど「市区町村民児協事務局」と連携がうまくいっていないと感じていることがわかった。

「警察署」「社会福祉協議会」「学校(小・中・高)」「地域の健全育成団体」では「基礎的活動」と逆相関がみられた(相関係数は順に-0.428,-0.285,-0.314,-0.295)。「基礎的活動」が高い民児協ではこれら関係機関・団体との連携がうまくいっていると感じる割合が高いことが示唆される。

「地域活動」「活動日数」との有意な相関はどの関係機関・団体とも認められなかった。

表9

	市区民児協	福祉事務所	児童相談所	保健所
組織型6分位	0.016	-0.043	-0.189	-0.183
地域型6分位	0.072	0.100	0.181	0.033
行政型6分位	0.335*	0.258	0.015	-0.040
活動日数6分位	0.109	0.081	0.063	-0.006
	子家庭支援C	警察署	消防署	社協
組織型6分位	-0.280	-0.428**	-0.259	-0.285*
地域型6分位	0.044	-0.082	-0.057	-0.033
行政型6分位	-0.069	-0.090	0.002	-0.031
活動日数6分位	-0.113	-0.246	-0.057	-0.179
	地域包括支C	保育園幼稚園	学校	児童館
組織型6分位	-0.041	-0.130	-0.314*	-0.039
地域型6分位	0.041	-0.057	0.177	-0.036
行政型6分位	-0.082	-0.030	0.000	0.267
活動日数6分位	0.009	-0.021	-0.055	0.020
	病院 医院	福祉施設 団体	単位民児協	主任 児童委員
組織型6分位				
地域型6分位	-0.170	0.039	0.060	0.191
行政型6分位	0.089	-0.008	0.097	-0.004
活動日数6分位	-0.066	-0.004	0.091	-0.118
	都民連	自治会 町内会	老人 クラブ	健全育成 団体
組織型6分位	-0.102	-0.138	-0.253	-0.295*
地域型6分位	0.024	-0.185	-0.261	-0.034
行政型6分位	0.159	0.009	-0.061	-0.183
活動日数6分位	0.063	-0.064	-0.192	-0.130

** 相関係数は 1% 水準で有意 (両側) です。

* 相関係数は 5% 水準で有意 (両側) です。

5. 活動に関する意識

(1) やりがい

活動実態調査では、民生委員活動を通じて感じる「やりがい」について1.感じている 2.少しは感じている 3.あまり感じていない 4.感じていない の4段階で聞いている。単位民児協ごとに平均値を算出して3つの活動領域及び「活動日数」との相関をみた(表10)。その結果、「やりがい」と逆相関がみられたのは「基礎的活動」(相関係数-0.573)と「活動日数」(相関係数-0.541)との間であった(相関係数-0.324)。ここから、「基礎的活動」及び「活動日数」が高い民児協ほど、「やりがい」を感じる民生委員が多くなることがわかる。

表10

	やりがい
組織型6分位	-0.573**
地域型6分位	-0.226
行政型6分位	-0.251
活動日数6分位	-0.541**

** 相関係数は 1% 水準で有意(両側)です。

さらに、活動実態調査では、「やりがい」を感じている人についてどのようなときにやりがいを感じるかを8つの項目についてあてはまるかどうかを尋ねている。この8つの項目別に単位民児協ごとに平均値を算出して3つの活動領域及び「活動日数」との相関をみた(表11)。その結果、「地域住民から感謝の言葉を掛けられたとき」と逆相関があったのは「基礎的活動」(相関係数-0.289)、「行政協力活動」(相関係数-0.466)、「活動日数」(相関係数-0.355)であった。「地域住民の手助けになっていると実感したとき」と相関があったのは「行政協力活動」(相関係数-0.301)であった。また、「地域活動」は他の活動と異なる傾向がみられ、「活動に際して地域の人々の協力が得られたとき」(相関係数-0.386)、「活動を通じて仲間ができたとき」(相関

係数-0.302)と逆相関があった。ここから、地域住民からの感謝の言葉、あるいは地域住民の手助けになっていると実感したときといったように、感謝されることにやりがいを感じる「基礎的活動」型・「行政協力活動」型に対し、「地域活動」型では活動を通じて得られる人とのつながりにやりがいを感じる事が推測される。

表11

	住民の手助け	感謝の言葉	住民知り合う	組織知り合う
組織型6分位	-0.114	-0.289*	-0.032	-0.143
地域型6分位	-0.252	-0.073	0.002	-0.111
行政型6分位	-0.301*	-0.466**	-0.141	0.063
活動日数6分位	-0.232	-0.355*	-0.092	-0.169
	地域の協力	仲間ができた	成長できた	貢献できた
組織型6分位	-0.049	0.028	-0.234	-0.208
地域型6分位	-0.386**	-0.302*	-0.135	-0.043
行政型6分位	-0.103	0.077	-0.245	-0.234
活動日数6分位	-0.241	-0.091	-0.275	-0.119
	その他	特になし	最重要	
組織型6分位	-0.126	-0.104	-0.164	
地域型6分位	-0.352*	0.296*	-0.002	
行政型6分位	0.075	-0.124	-0.259	
活動日数6分位	-0.192	0.052	-0.227	

** 相関係数は 1% 水準で有意(両側)です。

* 相関係数は 5% 水準で有意(両側)です。

(2) 活動をすすめる上での支え

活動実態調査では、活動をすすめる上での支えを8項目にわたりあてはまるかどうか尋ねているが、この項目別に単位民児協ごとに平均値を算出して3つの活動領域及び「活動日数」との相関をみた(表12)。その結果、「地域住民からの感謝やねぎらい」「家族の励ましや理解」と逆相関があったのは「地域活動」以外の項目、すなわち「基礎的活動」(相関係数-0.537、-0.419)、「行政協力活動」(相関係数-0.352、-0.288)、「活

動日数」(相関係数-0.531、-0.397)であった。「地域活動」は他の活動と異なる傾向がみられ、活動の支えについてはいずれの項目とも相関がなかった。

また、活動の支えは「特にない」と相関があったのは「基礎的活動」(相関係数0.397)、「活動日数」(相関係数0.396)であった。活動の支えが「特にない」と回答する割合の多い民児協では「基礎的活動」「活動日数」が低い傾向が示唆される。

表12

	感謝やねぎらい	委員のアドバイス	先輩や仲間	民児協や行政
組織型6分位	-0.537**	-0.273	-0.227	0.023
地域型6分位	-0.274	0.158	0.148	0.125
行政型6分位	-0.352*	-0.188	-0.043	0.151
活動日数6分位	-0.531**	-0.137	-0.132	0.068
	家族の励まし理解	職場の励まし理解	その他	特にない
組織型6分位	-0.419**	-0.260	-0.004	0.397**
地域型6分位	-0.218	-0.095	-0.127	0.062
行政型6分位	-0.288*	-0.267	0.089	0.278
活動日数6分位	-0.397**	-0.195	-0.017	0.396**

** 相関係数は 1% 水準で有意 (両側) です。

* 相関係数は 5% 水準で有意 (両側) です。

(3) 活動に際しての困難さ

活動実態調査では、活動に際して「困難さ」を感じたことがあるかを1.ある 2.どちらかといえばある 3.どちらかといえはない 4.ない の4段階で聞いている。単位民児協ごとに平均値を算出して3つの活動領域及び「活動日数」との相関をみた(表13)。その結果、「困難さ」との相関がみられなかったのは「行政協力活動」で、他の項目についてはすべて逆相関がみられた。相関係数は「基礎的活動」-0.321、「地域活動」-0.403、「活動日数」-0.494である。ここから、「行政協力活動」が高い民児協では「困難さ」にはつながらないものの、他の活動である「基礎的活動」「地域活動」、及び「活動日数」が高い民児協では「困難さ」を感じ

やすいことが示唆される。

表13

	困難さ
組織型6分位	-0.321*
地域型6分位	-0.403**
行政型6分位	-0.248
活動日数6分位	-0.494**

** 相関係数は 1% 水準で有意 (両側) です。

* 相関係数は 5% 水準で有意 (両側) です。

さらに、活動実態調査ではどのようなことで活動に際して「困難さ」を感じたことがあるかを7項目にわたり1.非常にそう思う 2.そう思う 3.あまりそう思わない 4.全くそう思わない の4段階で聞いているが、項目別に単位民児協ごとに平均値を算出して3つの活動領域及び「活動日数」との相関をみた(表14)。その結果、「活動が忙しい」「単位民児協の組織活動の負担が大きい」と逆相関があったのは「地域活動」以外の項目、すなわち「基礎的活動」(相関係数-0.566、-0.392)、「行政協力活動」(相関係数-0.441、-0.350)、「活動日数」(相関係数-0.589、-0.361)であった。このように「地域活動」は他の活動と異なる傾向がみられ、「活動が忙しい」「単位民児協の組織活動の負担が大きい」と相関がみられない一方で、「家族や職場の理解が得られない」では相関があった(相関係数0.300)。つまり、「地域活動」が多い民児協の民生委員では家族や職場の理解が得られないとは思わない人が多いということになる。

また、「個別援助活動での対応が難しい」と逆相関があったのは「行政協力活動」以外の項目で、すなわち「基礎的活動」(相関係数-0.338)、「地域活動」(相関係数-0.382)、「活動日数」(相関係数-0.434)であった。つまり、民児協として「行政協力活動」が多くても「個別援助活動での対応の難しさ」にはつながらないものの、他の項目では活動が高ければ高いほど「個別援助活動での対応の難しさ」が高くなることがわかる。

表14

	活動が忙しい	個別相談活動難しい	支援得にくい	委員との関係
組織型6分位	-0.566**	-0.338*	-0.177	-0.178
地域型6分位	-0.187	-0.382**	-0.205	-0.114
行政型6分位	-0.441**	0.022	-0.098	-0.179
活動日数6分位	-0.589**	-0.434**	-0.266	-0.241
	組織活動うまくいかない	組織活動負担大きい	家族職場理解	
組織型6分位	-0.211	-0.392**	-0.009	
	0.146	0.005	0.950	
地域型6分位	-0.020	-0.020	0.300*	
行政型6分位	-0.155	-0.350*	-0.266	
活動日数6分位	-0.179	-0.361*	0.148	

** 相関係数は 1% 水準で有意 (両側) です。

* 相関係数は 5% 水準で有意 (両側) です。

Ⅲ. まとめ

以上の結果をもとに、若干のまとめを記しておく。

1. 基礎属性と活動実績との関係

(1) 基礎属性は活動実績にほとんど影響しない

活動実態調査における基礎属性項目のほとんどで、活動実績、すなわち3つの活動領域及び「活動日数」とのいずれの間とも相関が認められなかった。ここで相関が認められなかった基礎属性項目は、「性別」、「年齢」、「担当世帯数」の多さ、民児協の「初任者率」である。

このことから、民児協単位でまとめた基礎属性は、活動実績にほとんど影響しないことがわかる。

(2) 「無職率」は活動実績に影響がある

(1) では基礎属性が活動実績にほとんど影響しない

と述べたが、唯一、基礎属性項目で活動実績との間で相関がみとめられたのは「無職率」であり、「無職率」が高い民児協ほど「基礎的活動」と「活動日数」が多いことが示唆された。

このことから、現在仕事を持っていない民生委員が多い単位民児協では「基礎的活動」及び「活動日数」が多い傾向があると推測される。

2. 民児協活動と活動実績との関係

定例会の「開催回数」及び「出席回数」は活動実績に影響していなかった。ここからは、定例会はどの単位民児協でもおおむね一定の活動量となっているため、活動実績の差に反映しないと推測される。

また、「基礎的活動」と「活動日数」が高い単位民児協では、単位民児協の定例会の持ち方として「事例検討」が行われていることが多かった。上記1 (2) でも触れたとおり、「無職率」が高いと「基礎的活動」「活動日数」が高くなっている。民生委員活動に比較的集中して取り組める環境がある民生委員の多い民児協では、定例会で「事例検討」が行われるなど、よりきめ細かな個別援助をチームで検討している可能性があることが推測される。

3. 活動意識と活動実績との関係

ここでは、活動実態調査における活動意識と、実際の活動実績との間の関係をみていきたい。活動実態調査の活動内容が3つの活動領域のいずれと相関があるのかを表15に示した順でみていくこととする。

(1) 「基礎的活動」について

① 「基礎的活動」と関連のある活動実態調査項目

民生委員の組織活動に関しては、活動実態調査で「見守り活動」をしていると答えた民生委員の多い民児協

表15

	基礎的活動	地域活動	行政協力活動
(1) ①	○	×	×
②	×	○	○
(2) ①	×	○	×
②	○	×	○
(3) ①	×	×	○
②	○	○	×
(4)	○	○	○

では「基礎的活動」が高くなっていた。

また、民生委員の個人活動に関しては、「その他7（地域の学校の行事への支援や協力をする）」、すなわち学校行事への支援や協力が高い民児協では、「基礎的活動」が高くなっていた。

さらに、「地域2（委員同士で連絡を取り合い、支援の役割を分担する）」、すなわち委員同士の連絡調整が高い民児協では「基礎的活動」が高くなっていた。

さらに、「基礎的活動」が高い民児協では、「警察署」「社会福祉協議会」「学校（小・中・高）」「地域の健全育成団体」といった関係機関・団体との連携がうまくいっていると感じる割合が高かった。

このように、「基礎的活動」において活動実態調査と活動実績との連動が確認された。

さらに、「やりがい」を感じる民生委員が多い民児協では、「基礎的活動」が高いことが示唆された。

②「地域活動」「行政協力活動」と関連のある活動実態

調査項目

「地域活動」「行政協力活動」の両方に影響がある項目はなかった。「地域活動」「行政協力活動」との間に共通して影響する項目がないことから、その2つの活動と対峙するような「基礎的活動」の特徴を見出すことはできなかった。

(2)「地域活動」について

①「地域活動」と関連のある活動実態調査項目

民生委員の個人活動のうち、「地域活動」のみに影響があった項目は、「相談・支援1（関係機関や団体を紹介する）」「相談・支援3（自分の持っている情報を教える）」「相談・支援5（地域住民の身の回りの世話などをする）」「その他4（福祉施設や作業所などのボランティアとして活動する）」「その他5（配食サービスや家事援助サービスなどにボランティアとして参加する）」の5項目であった。これら5項目の個人活動が高い民児協では「地域活動」が高くなることがわかる。

また、「家族や職場の理解が得られない」と「地域活動」との間では、「地域活動」が多い民児協の民生委員では家族や職場の理解が得られないとは思わない人が多いということが示唆された。「地域活動」が高い民児協に所属する民生委員は、家族や職場の一定の理解を受けて活動を行っていると考えられる。

また、就任前に民生委員の「制度」をよく知っている民生委員が多い民児協ほど、「地域活動」が多かった。

さらに、どのようなときにやりがいを感じるかについても「地域活動」では後述のように他の活動と異なる傾向がみられ、「活動に際して地域の人々の協力が得られたとき」、「活動を通じて仲間ができたとき」と逆相関があった。

②「基礎的活動」「行政協力活動」と関連のある活動実態調査項目

単位民児協の定例会においては、「地域活動」以外の項目、すなわち「基礎的活動」「行政協力活動」が高い単位民児協ほど「各部会の活動報告」が行われていることがわかった。

また、民生委員が感じる活動の困難さについての項

目では、「活動が忙しい」「単位民児協の組織活動の負担が大きい」と逆相関があったのは「地域活動」以外の項目、すなわち「基礎的活動」、「行政協力活動」であった。

先に(3)で述べたように、「地域活動」では活動の困難さとしての「家族や職場の理解が得られない」は連動しない一方で、「基礎的活動」「行政協力活動」が高いと「活動が忙しい」とか「単位民児協の組織活動の負担が大きい」といった負担感につながりやすいことが示唆される。このように、活動の困難さに対する意識は、「地域活動」と他の2つの活動領域である「基礎的活動」「行政協力活動」との違いを顕著に示している。

さらに、民生委員の活動に際してどのようなときにやりがいを感じるかでは、「基礎的活動」「行政協力活動」では「地域住民から感謝の言葉を掛けられたとき」にやりがいと関係が認められた。先に述べたように、「地域活動」では、「活動に際して地域の人々との協力が得られたとき」「活動を通じて仲間ができたとき」と関係が認められたところである。これらから、地域住民からの感謝の言葉、あるいは地域住民の手助けになっていると実感したときといったように、感謝されることにやりがいを感じる「基礎的活動」型・「行政協力活動」型に対し、「地域活動」型では活動を通じて得られる人とのつながりにやりがいを感じるものが推測される。

(3) 「行政協力活動」について

① 「行政協力活動」と関連のある活動実態調査項目

「行政協力活動」が高い民児協ほど「市区町村民児協事務局」と連携がうまくいっていないと感じていた。「行政協力活動」は「実態把握」「一般訪問」をその内容としているが、行政の指示でこうした活動を行うことでは、市区町村民児協事務局と連携できているという実感にはつながらないことが示唆される。

② 「基礎的活動」「地域活動」と関連のある活動実態調査項目

「行政協力活動」以外の領域、すなわち「基礎的活動」「地域活動」では民生委員が感じる「困難さ」と関係していた。また、困難さの種類についても「行政協力活動」以外の領域、すなわち「基礎的活動」「地域活動」において「個別援助活動での対応が難しい」と逆相関があった。

つまり、「行政協力活動」が高い民児協では「困難さ」にはつながらないこと、そして他の領域の活動である「基礎的活動」「地域活動」が高い民児協では「困難さ」を感じやすいこと、また困難さの種類としては、個別援助活動での対応の難しさを感じやすいことが示唆される。

さらに、民生委員の個人活動では、「行政協力活動」以外の活動すべてと逆相関があったのは「相談・支援4（関係機関などの窓口と調整する）」「地域3（日頃から地域の関係機関・団体との関係づくりをする）」「地域4（関係機関からの依頼や指示に協力する）」「地域5（地域の関係機関・団体が開催する会合や行事に参加・協力する）」「その他6（地域の社協等関係機関のバザーや福祉まつりなどの行事に協力する）」の5項目であった。これら5項目の個人活動が高い民児協では、「行政協力活動」以外の活動、すなわち「基礎的活動」「地域活動」が高くなることがわかる。

(4) 3つの活動領域すべてと関連のある活動実態調査項目

「相談・支援2（悩み事を聞く）」と「その他1（地域住民に関する実態調査などを通じて地域の実情を把握する）」の2項目では、3つの活動領域いずれの間でも逆相関がみられ、これら2つの個人活動が高い民児協では、3つの活動領域である「基礎的活動」「地域活動」「行政協力活動」のいずれもが高くなることが示唆された。

IV. おわりに

民生委員の活動に関する意識と、実際の活動との間の関係を、単位民児協を基礎として探索的に分析を行った。上記のまとめで述べたように、3つの活動領域の多寡に対して民生委員の活動に関する意識とに相関関係が認められる項目がいくつか見られた。しかしながら、両者に関係は認められたものの、活動量と意識とのどちらが説明変数または被説明変数となるのかは十分検討できていない。さらに、本誌小林論文にもあるように、3つの活動領域の活動量には市町村行政の方針が影響を及ぼしうることが判明したところである。これらから、単位民児協活動が完全に自律的かつ独立したひとつの組織として活動しているというモデルで描くことには限界があると思われる。そういう意味では今回の探索的研究は今後のさらなる概念構成に向け参考となる面があると考ええる。

今後は単位民児協の類型化も視野に入れつつ、これまでの分析結果を踏まえて実際の単位民児協の活動のヒアリング調査等も交えて検討していきたい。

文献

小林良二「民生委員活動の統計的研究Ⅱ—東京都民生委員活動調査から—」, 福祉社会開発研究3, 93-102, 2010

小林良二「東京都における民生委員活動の統計的分析—単位民生児童委員協議会を中心として—」, 福祉社会開発研究2, 47-54, 2009

大村美保「民生委員の感じる困難さとその要因—民生委員活動との関係を中心として—」, 福祉社会開発研究3, 79-92, 2010

- i 小林09では第2因子を「直接支援活動」と命名しているが、ここでは「地域活動」と呼ぶこととする。
- ii 11の活動項目のうち「証明事務」「要保護児通告」はそれぞれ独立していると考えられる。